

2025 年 10 月 28 日

株式会社 北都銀行
フィデアエナジー株式会社

北都銀行による秋田県産再生可能エネルギー導入について ～北都銀行の使用電力全てを地元産再生可能エネルギー由来に～

株式会社北都銀行（本店：秋田県秋田市、頭取：佐藤 敬）は、フィデアエナジー株式会社（本社：秋田県秋田市、代表取締役：佐藤 貴幸、以下フィデアエナジーとする）より、秋田県内の再生可能エネルギー発電所に由来する電力を当行本部および営業店で調達することとなりましたのでお知らせいたします。

北都銀行は 2021 年 1 月より「再エネ 100 宣言 RE Action^(※1)」に参画しており、使用電力を 2050 年までに 100%再生可能エネルギーで賄うことを目指しております。本件取り組みに加えて、地元由来の非化石証書の購入を予定しており、これにより使用電力に伴う CO₂ 排出量をオフセットすることで、2026 年度には使用電力を 100%再生可能エネルギーで賄う見込みとなっております。

北都銀行では、今後も地域企業への再エネ電力の導入を促し、脱炭素経営を支援するとともに、地域経済の好循環を生み出す再生可能エネルギーの地産地消を積極的に進めてまいります。

記

1. フィデアエナジーによる再生可能エネルギー由来の電力供給について

フィデアエナジーは、2024 年 11 月にフィデアグループの銀行業高度化等会社として設立、2025 年 3 月に電力小売事業のライセンスを取得し、6 月より電力小売事業を開始しました。

この度、株式会社ウイネット西目（本社：秋田県秋田市、代表取締役：鈴木 亨）および秋田県内の太陽光発電所から「FIP 制度^(※2)」を活用した電力を調達したことにより、再生可能エネルギー由来の電力も供給可能となっております。

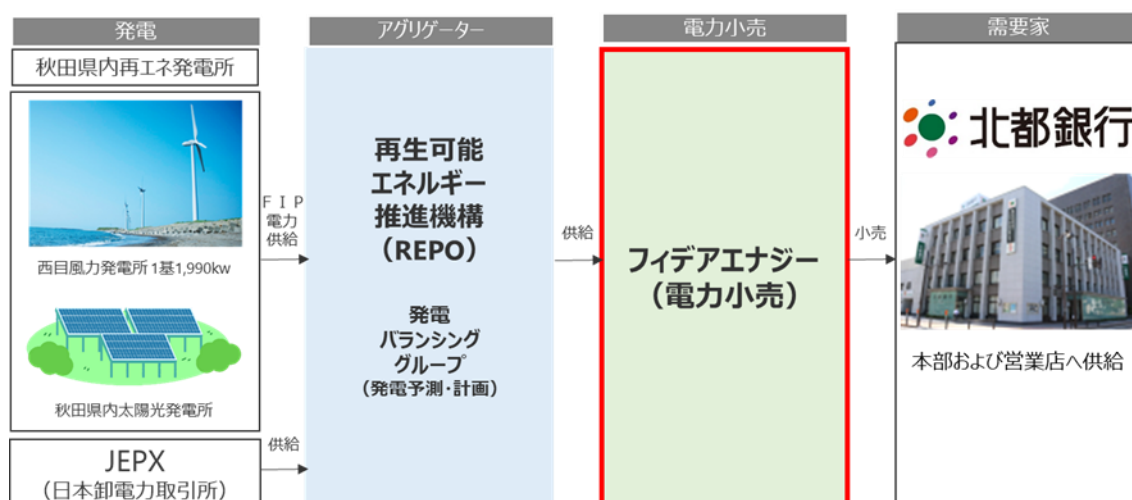
今後は、再生可能エネルギーの地産地消及び企業の脱炭素支援に向け、地域の企業等への電力供給を行う予定としております。

2. フィデアエナジーにおける調達発電所（風力発電所）の概要

発 電 所 名	西目風力発電所
事 業 者 名	株式会社ウイネット西目※ (株式会社市民風力発電、ワタミエナジー株式会社、株式会社ウエンティ・ジャパンの出資による SPC)
事 業 地	由利本荘市西目字海士剥地先
運 転 開 始	2013 年 4 月
発 電 出 力	1,990kw×1 基（日立製作所製）

※ 2013 年、北都銀行による初の風力発電事業向けプロジェクトファイナンス^(※3)にて対応

3. フィデアエナジーによる電力供給スキーム



(ご参考) フィデアグループのサステナビリティ経営への取り組みについて

フィデアグループではサステナビリティ方針を策定し、重要な社会課題の一つである持続可能な地域環境づくりに取り組んでおります。2013 年度を基準年度として、2025 年度までに CO2 排出量 ▲60%の削減、2030 年度までに ▲70%の削減を目標とし、各種認証制度の利用を含め 2030 年度のネットゼロ達成を目指しています。

(※1) 再エネ 100 宣言 RE Action

企業、自治体、教育機関、医療機関等の電力需要家が、使用電力を 100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示すことで市場や政策を動かし、社会全体の再エネ利用 100%を促進する枠組み。

(※2) FIP (Feed-in Premium) 制度

定められた事業期間中は常に固定価格で電気を買い取る FIT 制度とは異なり、電力市場での売電を前提として、電力市場価格に応じたプレミアム（補助金）を交付することで再生可能エネルギーの導入を促進する制度。FIP 制度では、発電事業者とアグリゲーター（電力は、需要と供給のバランスをとるために、需要量と供給量を一致させる必要があり、アグリゲーターはそのコントロールを行う。）もしくは電力小売事業者と相対契約が可能となった。

(※3) プロジェクトファイナンス

ある事業の資金調達において、その事業から生み出されるキャッシュフローのみを返済原資にあてるファイナンス形態。担保は、当該事業に関する資産（契約上の権利も含む）に限定し、事業を行う親会社の保証、担保提供等は原則行わない。

以 上

本件に関するお問い合わせ先（報道機関）
北都銀行 広報 IR 室 TEL：018-837-1766